

平成28年度 第3回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会
発達支援部会会議録

日 時 平成28年10月26日（水）午後4時30分から午後5時30分まで

場 所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター4階研修室

出席者 菅谷幸乃部会長、平沢真哉副部会長、
土屋知子部会員、星山伸夫部会員
松村幸江部会員、須鎌ひろみ部会員
野中幹子（鎌ヶ谷市学校教育課副主幹）
林恵利部会員（鎌ヶ谷市健康増進課主任保健師）
佐藤佳子部会員（鎌ヶ谷市こども発達センター分室主幹）
岩田友理子部会員（鎌ヶ谷市障がい福祉課主任保健師）

欠席者 福田弘子部会員

事務局

（障がい福祉課） 齊藤実障がい福祉課長、藤嶋晶子課長補佐、中村浩主任主事
（もくせい園） 三浦幸嗣氏

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・資料① 他市のサポートファイルの案内事例（菅谷部会長より）
- ・資料② 保護者の皆様へ・支援機関の皆様へ“イラスト挿入イメージ”
（平沢副部会長より）

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、欠席者について、出席者数が会議開催の定足数である過半数を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

1. 挨拶

2. 議題

「サポートファイルをより理解して活用してもらうための案内について」

【取扱説明書を作ることについて】

部会長

前回の会議ではサポートファイルをより活用してもらうために取扱説明書のようなものを作成してはどうか、というところで終わっていたと思う。今回はその取扱説明書の作成の可否、作成するのであれば、どのような内容にするのかを中心にご意見をいただきたい。資料①としてある他市のサポートファイルの案内事例は、取扱説明書を作成する際の参考になると思い今回配付した。

まずは、取扱説明書のようなものを作ることについて意見をいただきたい。

部会員

サポートファイルの趣旨を保護者へ直接伝えることは、とても大事なことで、簡単にサポートファイルの趣旨が分かるようなものがあればよいと思う。

部会長

取扱説明書のようなものを作成することについては、異議がないようなので、次にどのような形態のものにするのがよいかについて意見をいただきたい。

部会員

現在のサポートファイルにも、冒頭1、2ページ部分に丁寧に使い方が書いてある。ただ、文字が多いので、説明を受けずに渡されたとしたら、読んでみようと思う人は少ないかもしれない。ファイルを開いた時に一目でこれがどのようなものなのか、分かるようなものを作ることができれば一番よい。

部会員

資料①の他市のサポートファイルの案内のようにイラストを入れたり、文章を簡潔にしたりすると、開いた時に目を引くと思う。

部会員

サポートファイル自体に厚みがあり、渡されたときに構えてしまうところがある。取扱説明書はイラストを多く入れるなどして、使い方を読んでみようと思わせるものが多い。

部会員

他市のサポートファイルの案内は、確かにイラストや端的な表現で、わかり易い作りだが、鎌ヶ谷市のサポートファイルの冒頭部分も内容的に違いはない。サポー

トファイルの冒頭部分を変えるのか、それともサポートファイルとは別に作った方がいいのか。

事務局

サポートファイルは既に配付されているものも多くあるので、サポートファイルの本文を変えるのではなく、今回は、本文とは別に簡単な取扱説明書を作成して、サポートファイルに挟みこめる形にするのが、一番スムーズな方法だと考える。

部会員

取扱説明書というより、よく家電製品にある「簡単操作ガイド」のようなイメージの方が適当だと思う。とにかく見やすく、必要最低限の内容を掲載するのがよいと思う。資料①の「つないでいきます」のイラストはいいと思う。将来の見通しを持ってもらうのは口頭だけでは難しい。イラストが入るとイメージが持ち易いのでイラストで示せるとよい。

【具体的なレイアウトについて】

部会員

絵的には本人を中心にみんなが手をつないで支えるというようなイメージで視覚から入っていけるものがよいのではないか。

部会員

サポートファイルの保護者の皆様へと支援機関の皆様へのページ（冒頭1、2ページ部分）の前にこのサポートファイルがどのようにつながっていくのかということイラストで載せるのがいい。施設の職員であっても、医療機関であってもこのファイルは情報が共有できるものだということを目でわかるようにして、保護者の皆様へと支援機関の皆様へのページにつないでいければいいのではないか。

部会員

サポートファイル冒頭にある「記録する」「活用する」「貯蔵する」「管理する」のうち「貯蔵する」についてのいい表現はないか。「管理する」の後に将来につながる表現はないか。

部会員

「貯蔵する」に当てはまる言葉として「増やす」というのはどうか。

部会員

他市のサポートファイルの案内の「つづります」が「増やす」に該当すると思われるが、もう少しイメージを膨らませると「積み重ねる」ということかもしれない。

部会員

キャッチーな言葉があるといい。他市のサポートファイルの案内の「つづって」、「伝えて」、「つないで」いきます、に集約されるが、“みんなでつなぐサポートファイル”というのはどうか。

部会員

保護者はなかなかまわりとつながっているというイメージが持てていない。資料①の「つないでいきます」の説明のところも医療、保健、福祉機関といった言葉なので、イラストが入れば保護者には大変わかりやすいと思う。

部会員

資料①の他市のサポートファイルの案内では、関係機関、支援機関が横に並んでいるが、それぞれがつながるという意味では輪の方がよいのではないか。一方通行ではなく全体で支えるというイメージが持てる。

【記入例（サンプル）の作成について】

部会員

保護者が書くときに、どのように記録してまとめた方がいいのか、記入例のようなものがあるとよいと思う。医療機関で書いてもらう時も、どういう記入の仕方をしていいのかというサンプル的なものがあると、医師などもイメージしやすいのではないか。

部会員

今はみんなインターネットを使うので、ネットに記入例を載せるのはどうか。

【その他の意見】

事務局

医師会には説明していない。

部会員

子どもの発達が心配になった時にきっかけになるのがかかりつけ医だったり検診だったりするし、校医をやられている先生もいるので、医師会に周知するだけでも先生たちの意識も違ってくるのではないかと思う。

部会長

サポートファイルの説明文（冒頭1・2ページ部分）は文字が多いので、絵を入れるなどしてサポートファイルがどのようにつながっていくのかをイメージしやすい説明を追加する。また、見本や記入例があった方が書きやすく、さらに、それをホームページにも反映させ保護者がアクセスしやすくしてはどうか、といったところで、よろしいか。

事務局

提案いただいたイラストのイメージと“みんなでつなぐサポートファイル”という言葉織り込みながらサンプルを作成し、次回提示したい。

部会長

本日の部会はこれで終了いたします。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成28年12月20日

氏名 松村 幸江

氏名 菅谷 幸乃